

うめきた2期区域（グラングリーン大阪）

まちづくりシンポジウムを8月7日に開催

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」）は、令和6年8月7日（水）に、うめきた2期区域のまちづくりの意義をより多くの人に知ってもらうため、「うめきた2期区域（グラングリーン大阪）先行まちびらき記念イベントまちづくりシンポジウム」（以下「本シンポジウム」）を開催します。

UR都市機構は事業関係者や共創事業者、有識者と協力し、令和6年9月6日（金）のうめきた2期区域の先行まちびらきに向けて準備を進めています。

本シンポジウムでは、うめきた2期区域のまちづくりに参画いただいた事業関係者や学識者の方々が登壇します。安藤忠雄氏による基調講演、テーマ別セミナーおよびパネルディスカッションを実施し、後世に残るうめきた2期区域のまちづくりを皆さんにお伝えします。

特設サイト（<https://www.ur-net.go.jp/symposium/>）にて、参加申込の受付を開始しておりますので、ぜひご参加いただき、うめきたの未来を考えてみませんか。

《本シンポジウム開催概要》

- 日 時 令和6年8月7日（水）
10:00～16:30（開場9:30）
- 場 所 グランフロント大阪コンベンションセンター
- 主 催 UR都市機構
- 申 込 特設サイト（<https://www.ur-net.go.jp/symposium/>）で受付（入場無料）

※報道機関の取材をご希望の方は、「お名前」「貴社媒体名（ご所属）」「ご連絡先（電話番号またはメールアドレス）を、UR都市機構 西日本支社 総務部 総務課に、電話（06-4799-1231）で8月2日（金）までにご連絡下さい。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

UR都市機構 西日本支社 総務部 総務課（広報担当） TEL：06-4799-1231
UR都市機構 西日本支社 都市再生業務部（シンポジウム担当） TEL：06-4799-1172

2024
8/7 WED

見えてきた、
うめきた2期。

うめきた2期区域
グラングリーン大阪

先行まちびらき記念イベント まちづくりシンポジウム

ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(グランフロント大阪 北館B2F)
10:00-16:30(開場9:30) 主催／独立行政法人 都市再生機構

● 主催者挨拶・事業報告 10:00-10:30

● 基調講演 10:30-11:30／メイン会場[ホールA・B]

建築家 安藤 忠雄 「大阪を緑のまちに」

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「pinsa・デラ・ドガーナ」など。79年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、95年プリツカー賞、05年国際建築家連合(UIA)ゴールドメダル、10年文化勲章など受賞多数。97年から東京大学教授、現在名誉教授。



撮影：関野 欣次

街に、ルネッサンス



UR都市機構

S y m p o s i u m シンポジウムプログラム

テーマ別プレゼンテーション 12:45-14:45

ホールC

[Design&Build]

設計者が語るグラングリーン大阪の建築計画について



日建設計 設計監理部門 設計部 部長

疋田 誠二

1996年に神戸大学修士課程を修了し日建設計に入社。専門は建築意匠設計。入社以来オフィス、駅前再開発、専門学校、銀行など幅広い分野のプロジェクトに携わってきたが、近年はホテルとホスピタルに没頭している。宿泊と医療という全く性格の異なる分野であるが、常に最新情報に敏感になり深い専門知識を要求される点では共通があり、「人と人の関わり合い」「時間」の大切さを教えてくれるプロジェクトである。



日建設計 設計グループ ダイレクター

團野 浩太郎

1982年 愛知県生まれ／2005年 早稲田大学理工学部建築学科卒業／2007年 早稲田大学大学院修了後、日建設計入社／現在 同社設計グループ ダイレクター／賞歴：2007早稲田建築設計賞、2017日本建築学会作品選定、2017 JIA優秀建築選／主な設計の経歴：立教大学新座教室棟、東亜道路工業本社ビル、白金の家（自邸）、MIYASHITA PARK



日建設計 設計グループ アソシエイト

山本 恒史

1984年 兵庫県生まれ／2007年 和歌山大学システム工学部卒業／2009年 和歌山大学大学院システム工学研究科修了後、日建設計入社／現在 同社設計グループ アソシエイト／主な設計の経歴：鳥取県立中央病院、松山赤十字病院

うめきた公園 ランドスケープデザイン誕生秘話



日建設計
都市・社会基盤部門
ランドスケープ設計部 部長

小松 良朗

大阪府立大学大学院修了後、建設コンサルタント事務所を経て2008年日建設計入社。オフィス、教育施設、ホテル、商業施設等のランドスケープデザインや特殊緑化技術を駆使した環境建築、Biophilic designのプロジェクトに積極的に携わる。日本造園学会賞・グッドデザイン賞他、多くのプロジェクトで景観・環境関連賞を受賞。技術士、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、樹木医。近畿大学非常勤講師。

グラングリーン大阪ができるまで

～大阪最後の一等地における大規模複合開発工事～



竹中工務店
うめきた2期開発事業建設工事
総合事務所所長
北東地区総括所長

栗田 佳彦

1985年竹中工務店に入社後、大阪・神戸において多くの新築工事の施工管理を担当。その後、2011年より神戸支店長、2017年より大阪本店副本店長として内勤勤務。2021年よりグラングリーン大阪開発事業建設共同企業体総合事務所所長として工事全般のマネジメントを担う。



竹中工務店
うめきた2期開発事業
北街区賃貸棟新築工事副所長

平池 拓美

2004年竹中工務店入社後、大阪・神戸のオフィス、学校、商業施設、集合住宅、物流施設などの作業所施工管理を担当した。2020年よりうめきたプロジェクトに参画し、現在もまちびらきに向け、建物づくりに取り組んでいる。



大林組
うめきた都市公園整備工事
事務所 副所長

奥田 和弘

1989年大林組に入社。名古屋支店、京都支店管轄の現場を経て、大阪本店建築事業部生産技術部に約17年間在席。その後、淀屋橋での逆打工事現場を経て、現職に就きました。入社以来、主に、大深度掘削工事での山留めや逆打ち支柱の設計、明確な遮水層が無い地盤での大規模な水替計画、大空間鉄骨のスライド工事計画、鉄道駅舎の曳家工事、鉄道近接協議と施工計画、などを経験してきました。



大林組
うめきた2期共同企業体 所長

松下 幹夫

1993年入社以来、商業施設を中心に、ホテル、オフィスビル、社屋建築などの施工に携わる。うめきた地区では北ヤード1期工事であるグランフロント南館建築の施工を担当し、2020年よりうめきた2期に着任。大深度掘削の施工を過去に多く担当し、特に軟弱地盤である梅田粘土層は今回で2回目の挑戦です。

共創から生まれる「みどり」と「革新」～うめきたが拓く新時代へ～

うめきた2期区域の計画～設計～施工の各フェーズに関わった専門家や事業関係者が、成功のポイントや舞台裏を紹介します。

ルーム7 [イノベーション]

大阪大学が「うめきた」から 展開する新価値創造エコシステム



大阪大学
総長

西尾 章治郎

1975年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。専門分野はデータ工学。1992年大阪大学工学部教授、同大学サイバーメディアセンター長(初代)、同大学院情報科学研究科長、同理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2019年5月よりUR都市機構西日本支社うめきた2期区域開発協議会アドバイザーを務める。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞、2016年文化功労者など受賞。

イノベーションを通じた 関西経済の活性化

～U-FINOの取り組みと展望～



一般社団法人 うめきた未来イノベーション機構
理事長

中沢 則夫

神戸市出身。東京大学法学院卒業後、1986年通産省(現・経産省)に入省。4回の在外勤務(比、韓、英、米)、経企企画、金融庁、地方自治体への出向等を含め、幅広く経済実態を踏まえた通商政策及び産業政策の立案・実行に関わる。産業技術総合研究理事、サンフランシスコJETRO所長を歴任。退官後、大和総研特別研究員として政策分析・マクロ経済分析を担当。2022年10月よりうめきた未来イノベーション機構代表理事・理事長。

3D都市モデルがひろげる

無限の可能性

～うめきた2期のユースケース～



フォーラムエイト
執行役員

新田 純子

株式会社フォーラムエイト 執行役員 営業サポート管理マネージャ。2011年に入社後、同社のVR、FEM、設計関連パッケージを活用した各種システム構築提案等に従事し、現在に至る。建設・地方自治体等の業界を中心に各種ハードウェアとの連携システム構築やクラウド、XR、メタバースにおける提案を多数行っている。2019年 第8回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞を受賞。



ルーム8 [みどり]

地歴を踏まえた大都市 大阪のみどりづくり



大阪府立大学
名誉教授

増田 昇

1988年農学博士の学位取得後、1997年に大阪府立大学農学部の教授になり、2015年から同大学の生命環境科学研究科の研究科長と植物工場研究センター長を兼務する。2017年3月に定年退官し、2021年4月以降、LAまちづくり研究所を主宰している。専門はランドスケープ・アーキテクチャ(緑地計画学)で、日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長等を歴任し、大阪府や大阪市、堺市等の都市計画や景観審議会委員を務めていた。

みどりを中心としたまちづくりの 社会的効果～見える化に向けた第一歩～



日本政策投資銀行 関西支店 部長 **有年 和廣**

1996年3月京都大学法学院卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。入行後、関西支店、南九州支店等で地域産業活性化の支援に携わった他、サステナビリティやカーボンニュートラルに関する調査業務を担う一般社団法人日本経済研究所にて常務理事を務めた。2023年6月から日本政策投資銀行関西支店部長に就任(現職)。



日本政策投資銀行 地域調査部 課長 **加藤 翔**

2005年3月早稲田大学法学院卒業後、日本政策投資銀行入行。入行後、関西支店においてリーマンショック後の金融危機対応、九州支店にて熊本地震復興支援に携わった他、財務・産業調査部他にて新たなプロジェクト創出の取組に従事。現在は地域調査部において各地域の地域脱炭素の取組支援やグリーンインフラに関する調査・国土交通省の委員等を務めている。

「みどりのものさし」による グラングリーン大阪の緑がもたらす 環境価値の可視化



日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 部長 **小松 良朗**

大阪府立大学大学院修了後、建設コンサルタント事務所を経て2008年日建設計入社。オフィス、教育施設、ホテル、商業施設等のランドスケープデザインや特殊緑化技術を駆使した環境建築、Biophilic designのプロジェクトに積極的に携わる。日本造園学会賞・グッドデザイン賞他、多くのプロジェクトで景観・環境関連賞を受賞。技術士、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、樹木医。近畿大学非常勤講師。



日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 課長 **小川 伸子**

アメリカのジョージア州立大学でランドスケープ修士課程を修了(MLA取得)。造園会社で医療施設のヒーリングガーデンや食をテーマとした景観づくりに従事したのち、メキシコで防災関係の研究を経て、2021年に日建設計に入社。ランドスケープ設計部所属。



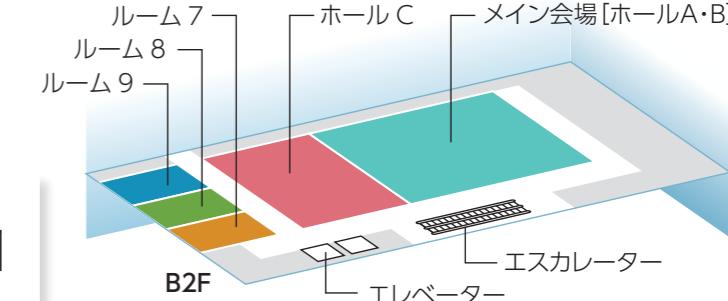
日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 アソシエイト **平山 友子**

大阪公立大学大学院修了後、ランドスケープデザイン設計事務所勤務を経て、2016年建設設計入社。以来、教育施設・オフィス・ホテル・病院・パブリックスペース等の多岐に渡るランドスケープデザインに従事。うめきた2期では都市公園の設計を担当。技術士(建設部門)、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。武庫川女子大学非常勤講師。



日建設計 都市・社会基盤部門シビルグループ アソシエイト **福壽 真也**

岡山大学大学院修了後、1983年日建設計入社。長年、琵琶湖などの湖沼、ダム貯水池、河川等の公共水域の水環境問題に従事。2009年頃からコロナ前までは、ペトナム、カンボジアなどにおけるグリーン成長のための総合計画(廃棄物、エネルギー、交通、上下水道・雨水排水、環境保全分野など)の策定や低炭素都市づくりのガイドラインの策定、プロジェクト形成などに取組む。技術士。



ルーム9 [インフラ]

12:45

まちづくりと一体で実現した

東海道線支線地下化・新駅設置事業

～新たな都心貫通ネットワークの整備と
大阪駅のゲート機能強化～



JR西日本
地域まちづくり本部 交通(都市圏) 担当課長

河端 邦彦

2001年にJR西日本に入社。おおさか東線や富山駅付近連続立体交差事業などの建設工事に従事。東海道線支線地下化・新駅設置事業は計画当初において鉄道施設改良計画立案に従事、また2021年からうめきた工事所長として2023年2月の30時間に渡る地下化切换工事を指揮。2024年6月より現職。国土交通省都市局への出向経験もあり、鉄道とまちづくりに関する業務を幅広く経験している。

うめきたの舞台裏

～新たな建設マネジメントへの挑戦～



UR都市機構
西日本支社技術監理部 担当課長

中田 俊也

1999年に早稲田大学理工学部土木工学科を卒業し、住宅・都市整備公団(現UR)に入社。2001年から2004年にかけて国際コンセプトコンペ実施など、うめきた先行開発区域の事業組成に携わる。2017年からうめきた2期区域の工事・事業間調整や設計・工事推進を担当。うめきた3D都市モデルの整備・活用などまちづくりDXにも取組み中。



UR都市機構
西日本支社都市再生業務部
うめきた都市再生事務所事業調整課 主幹

林 孝光

2005年に大阪市立大学工学部土木工学科を卒業し、建設会社勤務を経てUR都市機構に入社。大手町、渋谷など都心部での都市再生事業における基盤調整業務に携わる。うめきた2期区域では2016年から2018年の3年間と2022年から現在までの合計5年半の期間、工事・事業間調整を担当。

うめきたの「みどり」がつなぐ

風とまち

～グリーンインフラによる快適な環境づくり～



日本工営
大阪支店 基盤技術部 チーフスペシャ

Panel Discussion

メイン会場[ホールA・B]

15:00-16:30

パネラー



大阪市 副市長
高橋 徹

京都大学大学院工学研究科修士課程を修了し、1985年4月、大阪市に奉職。長年、大阪市の都市計画に携わり、2012年4月に計画調整局計画部長兼うめきた整備担当部長、2018年4月に都市計画局長に就任。2019年6月より副市長を務める。



JR西日本 代表取締役副社長兼執行役員
地域まちづくり本部長

春名 幸一

京都大学大学院工学研究科修士課程を修了し、1989年西日本旅客鉄道株式会社入社。京都駅ビル、大阪駅改良、三ノ宮駅ビル建替えなど大規模ターミナル開発や鉄道整備プロジェクトに従事。地域まちづくり本部副本部長を経て、2024年6月より現職。



大阪府立大学 名誉教授

増田 昇

1988年農学博士の学位取得後、1997年に大阪府立大学農学部の教授になり、2015年から同大学の生命環境科学研究所の研究科長と植物工場研究センター長を兼務する。2017年3月に定年退官し、2021年4月以降、LAまちづくり研究所を主宰している。専門はランドスケープ・アーキテクチャー（緑地計画学）で、日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長等を歴任し、大阪府や大阪市、堺市等の都市計画や景観審議会委員を務めていた。

共創時代のまちづくり うめきた2期からの発信

モデレーター

立命館大学 理工学部 教授
岡井 有佳



京都市生まれ。パリX大学DESS修了。東京大学博士(工学)。専門分野は、都市計画、都市政策。建設省(現、国土交通省)、OECD、パリI大学CRIAなどを経て、2018年4月から現職。大阪市都市計画審議会、大阪市景観審議会、大阪城東部地区まちづくり検討会などの委員を務める。

三菱地所 執行役常務

大野 郁夫



1992年5月三菱地所株式会社入社。入社以来一貫して、丸の内をはじめとする様々なエリアでの都市開発事業に従事。また、直近は新規事業開発、DX推進を担当。2023年4月より関西支店着任。グラングリーン大阪他開発案件の推進を指揮し、現在に至る。

大阪大学 総長

西尾 章治郎



1975年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。専門分野はデータ工学。1992年大阪大学工学部教授、同大学サイバーメディアセンター長(初代)、同大学情報科学研究科長、同理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2019年5月よりUR都市機構西日本支社うめきた2期区域開発協議会アドバイザーを務める。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞、2016年文化功労者など受賞。

UR都市機構

理事・西日本支社長

高原 功



1988年に、日本大学大学院建築工学科を修了し、住宅・都市整備公団(現UR)入社。大都市・地方都市の都市再生や団地再生から賃貸住宅経営、震災復興支援まで幅広く地域のまちづくりに携わる。2024年7月から現職。

入場
無料

基調講演／シンポジウム／パネルディスカッションの

参加お申し込みは下記URLから

<https://www.ur-net.go.jp/symposium/>



各プログラムとも定員に達し次第
締め切らせていただきます。

うめきた
Instagram

- 登壇者、講演テーマは変更になる場合があります。
- 周辺道路の混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。



シンポジウム
HP

独立行政法人 都市再生機構

西日本支社 都市再生業務部

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-13-1

大阪梅田ツインタワーズ・サウス21F

都市計画
CPD



<うめきた2期区域のまちづくりが取り組む SDGs>



<UR都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>



<うめきた都市再生事務所 Instagram>

<https://instagram.com/umekita2ur>

